

第13回高校生模擬裁判選手権 四国大会 報告書

香川県弁護士会 吉田 明 央

令和元年8月3日、第13回高校生模擬裁判選手権・四国大会が、高松地方裁判所において行われました。今年は、4県あわせて11校から申し込みがあり、各県で予選が行われ、勝ち上がった4校が本選に挑みました。

本選出場校は、下記のとおりです。

- ・高松第一高等学校（香川）
- ・徳島文理高等学校（徳島）
- ・高知追手前高校（高知）
- ・愛光高等学校（愛媛）

四国大会においては、証人テストの実施と尋問中の異議有りというローカルルールが採用されています。すべての高校の証人尋問、被告人質問は十分練られた質の高い内容となっております。

また、論告・弁論においては従来からボードやパネルの利用がなされておりましたが、今年もその伝統を引き継ぎながらもパネルに動きを持たせる等ブラッシュアップが重ねられておりました。

当日は、高松地方裁判所の実際の法廷を使用して試合を行いました。審査員は、現職の裁判官、検察官、弁護士に加え、有識者（大学教授）やマスコミ関係者によって構成されました。

今年の結果は、高松第一高校が二連覇を果たす結果となりました。今年こそ高松第一高校が連覇をする形となりましたが、近年では各県で優勝を分け合っており、四国における模擬裁判のレベルが着実に上がっていると言えます。

以上